平成 29 年度（2017 年度）金沢大学大学院法務研究科　入学試験問題
【Ａ日程】法律専門科目試験

公法　出題の意図

問題１

現代社会でなお重要な役割を演じているマス・メディアの取材の自由の憲法上の意義の考察を前提にして、取材行為に自由のあり方を、さらに、取材の自由のうち取材源を秘匿する自由の意義と限界を、ここでは日本テレビ事件に基づき取材物を提出しない自由の意義と限界を検討してもらい、現代における取材の自由が提起する憲法問題について検討することを求めるものである。

問題２

【問１】

行政法理論を構築する基本的な用語についての理解を問う問題である。

【問２】

取消訴訟における訴えの利益に関する問題である。営業停止期間が経過した後において、処分の取消しを求めることについて、Ｘにどのような利益があるのかを、【問１】の性質論をふまえて、検討することが求められる。

私法　出題の意図

問題１

日常家事債務の連帯責任、法定代理、表見代理に関する問題である。その論述により、民法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試される。

問題２

取締役による支払見込みのない手形の振出と対第三者責任および辞任登記未了の辞任取締役と対第三者責任に関する問題である。その論述により、会社法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試されることになる。

刑法　出題の意図

刑法２０７条（同時傷害の特例）は傷害致死罪（刑法２０５条）にも適用されるか否かを、問うものである。